

学生出演(EmoHill、全学応援団)

アカペラサークル「EmoHill」と、スポーツシーンを熱く彩る「全学応援団」が出演します。学生の日頃の成果をご覧ください。

パネル展「総合大学を目指して―専修大学、戦後の歩み―」

今年、創立146年を迎える専修大学が、現在のような姿に変貌を遂げたのは戦後のことです。本展示では戦後の歩みを振り返ることで、専修大学の今を探ります。

募金局コーナー

募金の受付・募金に関する質問等にお答えします。資料の用意もございますので、ぜひお立ち寄りください。

大学グッズ販売コーナー

大学の公式グッズを販売します。ロゴ入りアイテムなど、キャンパスに戻ってきた記念にぜひ思い出のひと品を。

卒業アルバムコーナー

過去発行した卒業アルバムを展示します。恩師や同級生と共に卒業アルバムを見ながら、学生時代のあの頃を思い出してみたいか？アルバムの中で母校で過ごした青春時代の日々が皆さんを待っています。

キャンパスツアー

学生スタッフの引率で、なつかしいキャンパスの施設をご案内いたします。



専修大学相続・遺贈特別セミナー

昨今、「未来を担う若者に思いを託したい」、「自分が生きた証を母校に残したい」等の声を、校友の皆様からいただく機会が増えてまいりました。このような声にお応えし、「専修大学相続・遺贈特別セミナー」を、校友の皆様が母校に集まる貴重な機会であるホームカミングデーに合わせて開催いたします。講師には、本学提携金融機関である三井住友信託銀行の専門コンサルタントをお迎えし、相続の仕組みや遺贈についてご説明いたします。

パティスリー・ノコノコ 洋菓子販売

地域に根差したアットホームなケーキ屋、パティスリー・ノコノコが手作り洋菓子を販売します。パティシエが美味しさを追求し、手間ひまかけて作られたこちらの洋菓子は、川崎市のふるさと納税返礼品に選ばれたことも。母校の今を見た後は、パティスリー・ノコノコの洋菓子で、ぜひ甘いリラックスタイムをお楽しみください。

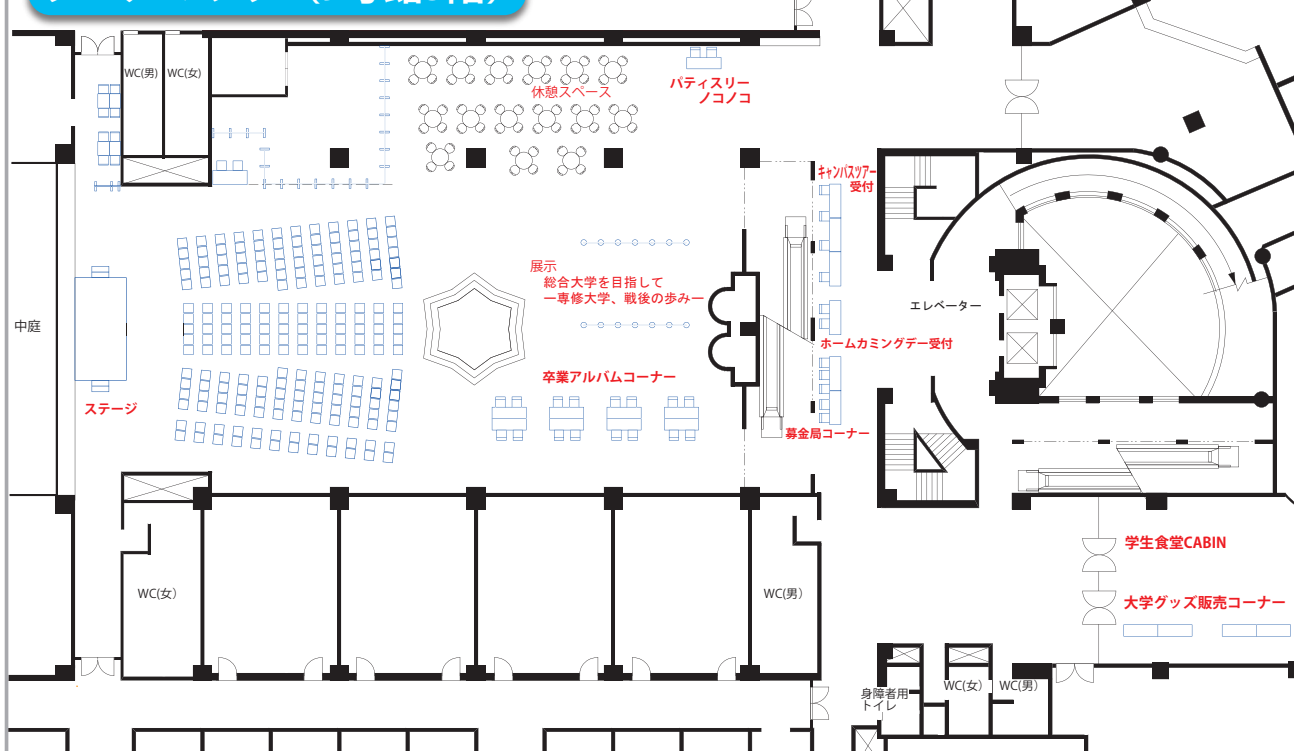
SENSHU UNIVERSITY 2025

HOME COMING DAY



11月7日(金)～11月9日(日)まで鳳祭も開催中です。ぜひお立ち寄りください！

フロアマップ (9号館5階)



ホームカミングデー2025

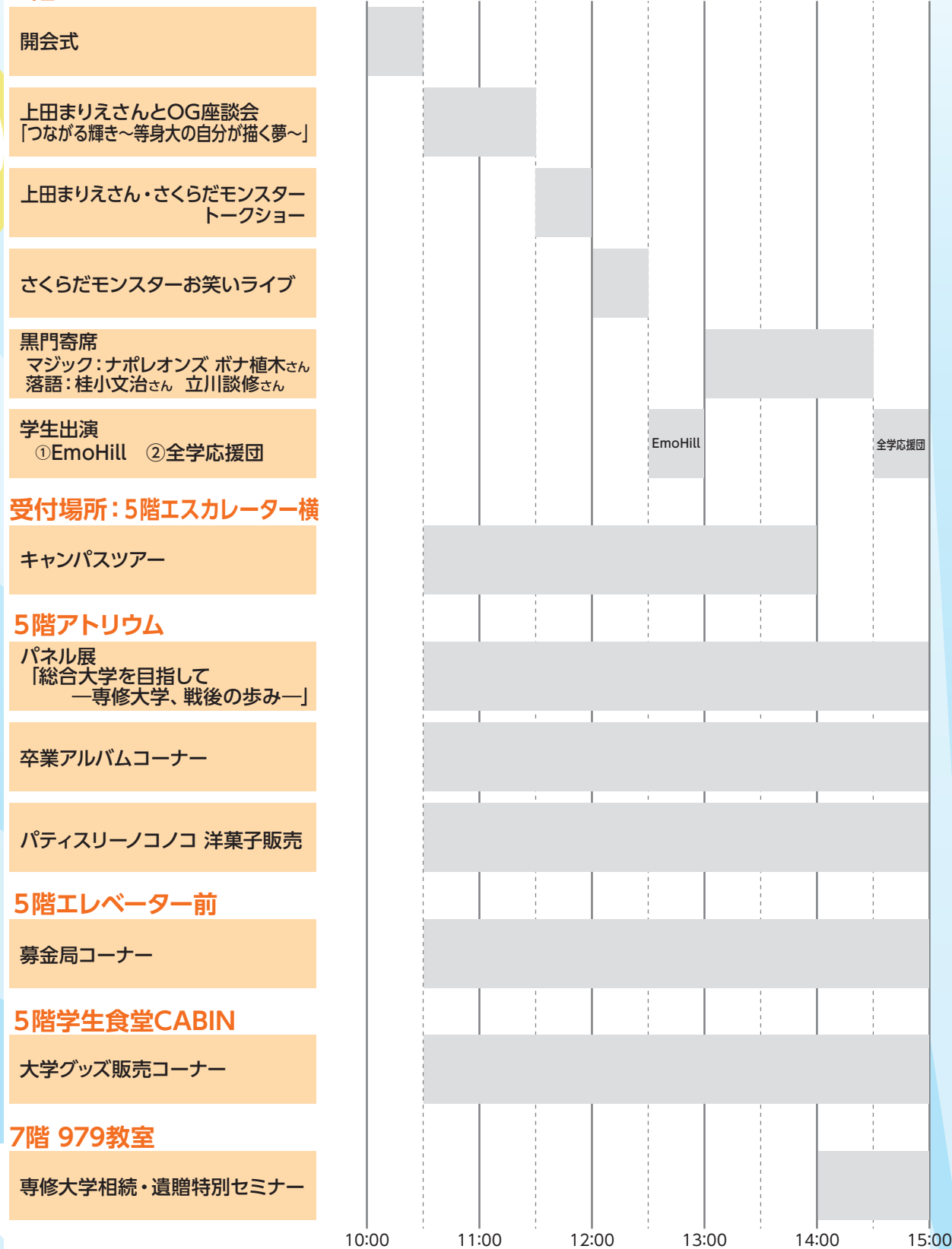
2025年11月8日(土) 10時～15時

専修大学生田校舎9号館(120年記念館)



販売品については、予定数が無くなり次第、終了とさせていただきます。

5階アトリウムメインステージ



上田まりえさんとOG座談会「つながる輝き ～等身大の自分が描く夢～」

専大卒業生の中でも、今回はOGにスポットを当てた座談会を行います。今回は現在タレントとして多方面で活躍をされている上田まりえさんをお呼びし、3名のOGと一緒に、専大での学生生活を起点とする過去・現在・未来について語り合ってください。OGの言葉を通して、あらためて専大の魅力や、専大での大学生活を経て生まれる多彩なストーリーや可能性などを感じていただければと思います。

上田まりえさん・さくらだモンスタートークショー

タレントの上田まりえさんとお笑いコンビのさくらだモンスターによるトークショーを行います。ジャンルにとらわれない自由で楽しいトークで、何が飛び出すかわからないワクワクのトークタイムをぜひお楽しみください！

さくらだモンスター お笑いライブ

お笑いコンビ・さくらだモンスターによるお笑いライブを開催します！マサキさん（平16商）としょっぴーさんのお2人によるテンポのいいネタで、みんな一緒に笑って元気になれる時間になること間違いなし。お笑いライブやイベントはもちろん、モノマネ、SNSで活躍中の彼らの笑いをぜひご堪能下さい。



上田 まりえ (平21文)
専大を卒業後、2009年に日本テレビにアナウンサーとして入社。2016年1月末、日本テレビを退社し、同年2月にタレントに転身。現在は、タレント、ラジオパーソナリティ、ナレーター、MC、スポーツキャスター、ライター、講師など幅広く活動中。2025年2月、1stデジタルシングルをリリースし、歌手活動も行っている。



さくらだモンスター
2人で作るテンポのいい漫才やコントで寄席を始め、数々の賞レースにも挑戦し続けるお笑いコンビ。観客を巻き込みながら会場全体を笑いで盛り上げるのが持ち味で、現在は様々なお笑いライブ・イベントはもちろん、SNSでも積極的に情報発信するなど、精力的に活動している。ツッコミのマサキさん（右・平16商）が専大卒業生。

黒門寄席

- ① 玄川 談修さん「阿武松（おうのまつ）」 ② ナポレオンズ ボナ植木さん「マジック」
③ 桂 小文治さん「田能久（たのきゅう）」

江戸時代から続く日本の伝統芸能を気楽に楽しめる寄席をお届けします。今回は落語二席とマジックでお楽しみいただきます。寄席のにぎわいとマジックの不思議が織りなすステージをぜひお楽しみに。



立川 談修 (平7法)

落語立川流所属。1995年3月、専大卒業と同時に立川談志に入門し、2003年二ツ目に昇進、2013年に真打へ昇進した。「落語立川流 家元・立川談志が生前認めた最後の真打」として話題を集める。各地で落語会や独演会、子供向けワークショップを行なう他、アマチュア向け落語教室で講師を務める。「初めて聴く人にもわかりやすい落語」が信条。



ボナ植木 (ナポレオンズ) (昭50文)

専大のマジックサークルに所属しており、1977年、同級生のパレット小石さん（昭50文）とコンビでナポレオンズとしてプロデビュー。国内外でのテレビ出演、公演や受賞歴も豊富で、日本テレビ「笑点」の演芸コーナーの代表格。2021年、相方パレット小石さんを病で亡くしたあと70歳にして新人ピン芸人マジシャンとなり、ジャズとマジックのコラボライブや詐欺予防講演などを行っている。



桂 小文治 (昭55商)

1979年、専大在学中に十代目桂文治に入門し、修行を始める。専大の落語研究会にも所属。1980年3月、専大卒業と同時に内弟子となり、1984年に二ツ目昇進、1993年に真打へ昇進し、同時に名跡である三代目桂小文治を襲名。都内の各寄席、地方公演、地域寄席に出演するほか、公益社団法人落語芸術協会理事、出身の青森県八戸市の八戸大使や八戸前沖さば大使としても活躍している。